

## 【健康海南21(第3次海南市健康増進計画)(案)に対する意見募集実施結果について】

「健康海南21(第3次海南市健康増進計画)」を策定するにあたり、広く市民の皆さまからご意見をお聴きするため、令和6年2月1日(木)から2月21日(水)まで、パブリックコメントを実施した結果は、下記のとおりです。

ご意見については、適宜要約等の上、取りまとめており、パブリックコメントの対象となる案件についてのご意見に対する考え方のみを公表させていただいておりますので、ご了承ください。

### 1. 市民からの意見数

持参によるもの	0通
郵送によるもの	0通
ファックスによるもの	0通
電子メールによるもの	1通

### 2. 提出された意見主旨とそれに対する市の考え方

No	意見主旨	市の考え方
1	健康寿命という言葉が1章の計画の趣旨と3章の1での健康寿命の延伸のみしか出ていない。もっと健康寿命という言葉が大々的に打ち出して、市民に浸透させるべきだと考える。	健康寿命は、様々な指標が達成されるに伴って延伸されるものであると考えており、市民の皆さまには、まずは自分が取り組むべき身近な指標に目を向けていただきたいと考えております。そのうえで健康寿命の延伸とは、目指すべきビジョンであり最終目標と位置付けております。
2	危機感を持って、高い目標を掲げどのように具体的に進めていくか、評論家的ではなく、PDCAを回して取り組める内容を期待する。 第2次海南市健康増進計画に比較し運動習慣について触れた部分には賛同だが、評論的に終わっていることは否めない。 どのように要介護になる人を減少させるかについて具体的な目標が無く、この高齢者の健康に関する部分の取り組みのままでは解決できないと思われる。	ご指摘のように、目標を達成するためにPDCAサイクルを循環させ取り組みの質を上げることは重要であると考えております。本計画においても中間評価を実施し、指標の見直し等を行う予定としております。計画(案)資料編P61以降の庁内各課等で実施されている事業においても、PDCAサイクルを循環させ、事業に取り組んでいるところです。目標達成に向け今後もPDCAサイクルの循環を継続し、計画の進行管理に努めてまいります。 本計画の目標や取り組み内容については、実際に取り組んでいただく市民の皆さま

	<p>65歳以上の運動習慣が非常に低い。要介護にならないためには自助が主、続いて共助、そこに公助による指導。要介護者の半減を目指す等、高い目標を掲げ進めるべき。また情報発信について、YouTubeや広報で発信されているが市民に浸透しているとは思えない。</p>	<p>まや関係団体の方々が取り組みやすいように、幅広く方向性を示すものとしています。計画の中の取り組みについて、行政だけでなく個人、団体がそれぞれ自分に合った具体的な目標を決め、振り返りや見直しを行いながら主体的に進めていただきたいと考えております。</p> <p>情報発信については、紙媒体やインターネット、ICTを活用するなど今後も継続して取り組んでまいります。</p>
3	<p>和歌山県は健康意識が非常に低い県であるという認識が薄く、健康レベルの低さを市民に認識してもらい、思い切った政策を打つ必要がある。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>